



六月十七日の議会の開会にあたり、市長は四月から六月までの市政の経過と現状を次のように報告しました。

最重要課題

本年度は、市民、市議会、行政が三位一体となつての地方拠点都市整備事業が具体的な事業実施に向け本格始動するなど、本市にとってまさに二十一世紀への自立をかけた挑戦する正念場の年という想いを改めて痛感しているところであります。

「まほろばの里アルカディア整備地区」における南国オフィスパーク事業については、去る四月十九日、誘致企業や地場産業を支援する中核施設として、かねてより準備が進められておりました。株式会社社南田オフィスパークセンタ

」が設立されました。

同社は地域振興整備公団や県、市、民間企業などで運営する第三セクターであり、事業計画区域のB地区に建設される予定であります。翌四月二十日には、事業本格化に向けてその促進を図るべく、地域振興整備公団の現地事務所として、同公団及び通商産業省、高知県などからの出向職員五人体制からなる「高知開発所」がデモンストラ・ミサルビルに開設されました。

「ザ・こめんパワースタディ地区」については、後免町市街地再開発事業は、地元準備組合の権利調査に続き、都市活力再生拠点整備事業の調査が完了し、今後の方向性が提案されました。今後これらの調査結果に基づき、再開発ビルに係る地元準備組合との協議に入り、関係機関等の指導を仰ぎながら合意形成に

向けての具体的な作業を進め、都市計画決定へと運んでまいりたいと存じます。また、まろづくりの骨格的道路となる高知広域都市計画道路高知南国線につきましては、協賛構成変更に係る都市計画決定の遅れから、測量設計調査業務、物件調査業務、鑑定評価等を繰越事業といたしました。

既に基礎点測量及び平仮測量を終え、現在、中心線の確定作業に入っております。今後、地産者と詳細な協議を行ったうえで実施設計に取りかかります。

本年度事業としては、これらの業務完了後、用地買収と物移転補償交渉に取り組みたいと存じます。次に、高知空港の整備については、国の本年度予算で五千万円の調査費が計上され、これを受けまして、地質調査、地形測量を実施することとされております。

また、地産者対策としてほ場整備を中心とする営農対策や、代替地確保に県と取り組むとともに、基金制度の創設などについて県に要請してまいったところであります。以上、最重要課題を中心にご報告いたしました。

総合計画と広域広域

若者を中心とした人口の流出と高齢化社会の進展や広域高速度交通体系の整備の進展による社会、経済、文化情勢の変化に対応すべく、地方拠点都市整備、健康文化都市などの行政支援助け措置を最大限に活用して事業を計画してまいりました。これらを総合的に編成し、新しい本市の運営指針を策定してまいります。

新計画は、現状と課題を明らかにしながら、二十一世紀の南國市の将来像に向けて、これから展開していく施策の基本的な方向を示すものと考えています。

現在、庁内で設置している行政計画策定委員会において各課の現状と問題点について検討をしているところです。今後は、幅広く市民のコンセンサスを得るためのシンポジウムの開催や市振興計画審議会の意見を聴取しながら取り組んでいきます。

また、二十一世紀を目指す南國の方向を見定め円滑な事業推進を図っていくため、市民参加の手法を念頭におきながら市政の現状や今後の方向づけを広く市民に伝えるとともに、あらゆる機会を通じて市民の意見、提案を積極的に

都市基盤の整備

に受け止めるべく広域広域活動の強化を図っています。本年度よりスタートします地域住宅計画（ホープ計画）推進事業については、前年度策定した計画方針に基づき、市民の理解と協力をいたいただきながら市民自ら行う住まいづくりを促進してまいります。

東海市官住宅の建設については、本年度に十五戸を計画しており、諸条件の整備と建物の詳細設計が完了したので、現在早期発注に向けて準備を進めています。

浦戸清流域関連公共下水道は、後免町、大橋及び長岡地区の一部、処理区域面積約六四〇で併用開始されています。接続可能件数約五百八十件に対し、百九十件が水洗化され、水洗化率は三三％となっています。

農林水産業

岩村地区のほ場整備については、本年度、事業費二億円、施工面積十五〇〇が予定されており、今秋の着工を目指して取り組んでいきます。

浜改日地区の農業集落排水対策事業についても、本年度事業として採択されており、五半後の完成を目指しています。本年度は、実施設計や処理場

用地の確保に取り組んでいきます。

また、久礼田地区は、ほ場整備と農業集落排水対策事業が並行して計画されています。ほ場整備については、仮同意三九五割、農業集落排水対策事業は、九〇割を上回る同意率となっております。

農協合併については本年七月一日の発足を目指し南国市農協、高知三和農協、岩村農協で準備が進められています。水産業については、昨年度に引き続き香長地区漁業改良協議会が、四月二十七日、ヒラメの稚魚を各漁協沖に放流し、六月にはマグロの稚魚一万五千尾が放流されることになつており、採る漁業から生産する漁業への移行が図られ

同和対策事業

小集落地区改良事業による公営住宅百二戸の建築事業については、平成五年度事業として計画していた三十八戸のうち、小山田地を分割した小山北工区七戸が完成し入居を終えています。

残る三十一戸については、現在、小山西工区九戸、野中団地十戸及び中央団地を分割した中央南工区十二戸の着注を終わり、年内完成を目指しています。

生活環境の整備

し尿処理施設の建設工事は、着工以来前週に達しており、来年後半には試運転に入るこ

つつあります。

では、市民の関心が高く願望に普及しています。一方ごみ処理対策では、稼働中の不燃物最終処分場の運用終了期が目前に迫っており、地元に対し延期についてのご理解と協力をお願いしているところです。しかしながら、中間処理を含む施設新設事業に要する期間は、最低五、六年以上が必要であり、この間のごみ処理には慎重な対策を講じ、市民生活に影響を及ぼさないよう配慮します。

健康文化と快適な暮らしのまち創造プラン事業のモデル都市指定を受け、南国健康ライブラリーを策定しました。この計画に基づき、「新たなまほろばの歴史を創造し、

保健・医療と福祉

まほろばの歴史を創造し、

優の健康文化を育む夢都市・南国」の創造を目指す市民総ぐるみの運動を展開していき

ます。高齢者に対する施策の中でも、在宅での福祉施策が最も重要な課題です。かねてより岡豊地区に建設中の本市二か所目の老人保健施設「夢の里」が開設されました。

この施設は、看護や医学的管理下における介護機能訓練などの必要な医療を受けながら自立した日常生活が送れるよう総合的なサービスを提供することを目的としています。

教育施設の整備

本年度も昨年度に引き続き香長中学校の大規模改修工事を実施しています。校舎の外装工事に続いて内装工事を完

また、施設の老朽化による市立図書館移転については、このたび旧四国銀行後免出張所跡の借り受けが決まり、現在、室内等の改修工事を進めています。本年七月の開館に向け鋭意取り組んでいきます。

財政 一般会計について、決算見込は、二億四千七百四十四万円の黒字ですが、翌年度への繰り越し財源を控除すると、実質収支は五千五百五十二万六千円で前年度と比較すると四十二万円の減となっております。下水道事業特別会計は、一

般会計からの繰入金調整により収支はゼロで、決算残高は八億二千六百六十四万七千円です。老人保健特別会計は、収支では二千七百八十八万三千円の黒字となっておりますが、これは平成六年度の支払基金、県への返還金であり実質収支はゼロとなります。平成六年度の一一般会計財政運営は、市税のうち個人市民税特別減税額が約三億千六百万円程度見込まれ、減税補填の起債を充当しての対応を余儀なくされており、経常経費の一層の引き締めと合わせてより効果的な運営に努めてい

さわやかさん



濱田 龍治さん (才谷)

看護師として高知医大に勤務して三年目の濱田さん。不規則で大変な勤務をものともせず、現在、外科病棟で患者さんのために頑張っています。

看護学校時代には、何度か挫折しそうになりながらも、先生や周りの人たちの励ましやアドバイスで、みごと国家試験に合格。看護師の世界に飛び込みました。

「実際現場に出て、責任の重さを感じました。看護は患者さんのニーズに応えながら、医師が治療を行いやすい状況を作っていく、いわば橋渡しです。そういった意味で、一つ間違えると取り返しがつかない事態を引きかかぬせんからね」肉体的にも精神的にも大変な分、やりがいもあるとのこと。看護する上で女性にはない男性の良さを出せるようになれば、と考えているようです。

人間のホットな部分を見たときにこの仕事を続けて行こうという気になるといふ濱田さん。後に続く後輩が、自分の働く姿を見て、手本にしてくれるような看護師になりたいそうです。

施するとともに懸案であったトイレの水洗化も同時に。快適な学校生活を送ることのできる施設整備に取り組み